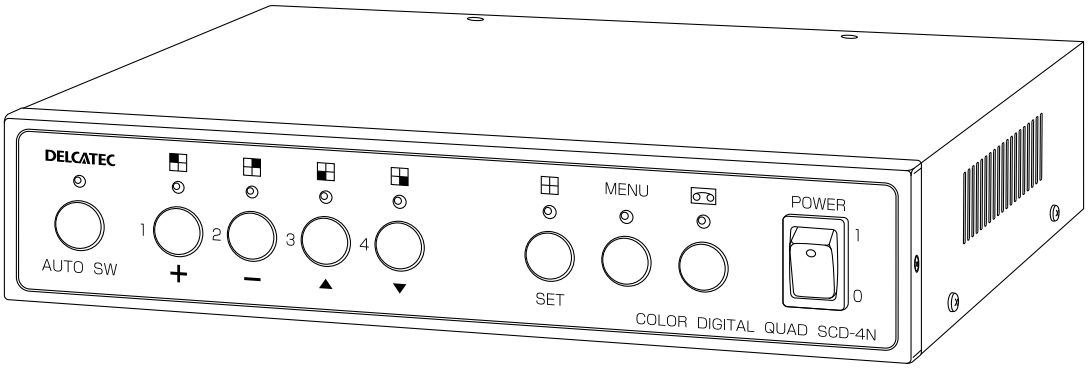
DELCATEC

●このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

取扱説明書

ＤＸアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

4CHカラー画面分割器　SCD-4N



製品の特長

- この製品１台に4台までカメラを接続して、各チャンネルごとの全画面表示と自動画面切換表示および分割画面表示ができます。
- 独立したビデオ出力端子により、4台のうちの1台のカメラで映像監視中でも4台のカメラ映像（4分割画面）を録画することができますので、カメラ4台の監視を逃しません。（後面パネルのVTR OUT端子利用）
- ビデオ再生画面は4分割画面表示とチャンネルごとの全画面表示を切り換えることができます。
- 監視映像を見ながらでもモニタ画面上でこの製品の主な機能設定やメニューの選択・変更ができます。
- チャンネルごとに、明るさ・コントラスト・彩度・色合いを画面上で調整でき、さまざまな設置環境に適応しています。
- 時間・日付の表示形式を選んだり、チャンネルタイトルを編集できますので、映像管理が容易です。
- モーションセンサにより、映像に変化があると（人が侵入すると）アラーム音と画面表示で警告し、発生日時を記録します。また、各チャンネルごとに検知感度（255段階）と検知エリア（48分割）を設定可能ですので使用環境に応じて調整でき、誤動作を防止します。
- 監視映像消滅検出（V.LOSS）機能と外部センサ入力端子によるアラーム応答機能があり、発生した日時を記録します。（90件まで）
- 自動画面切換表示のチャンネル切換速度を調整できます。
- リセット入力により離れた場所からでもアラーム解除が可能です。
- アラーム発生時の無電圧リレー接点出力（N.O、N.C）と外部センサ入力4ch（N.O、N.C、OFF選択可能）があり、他の機器を接続して監視システムを構築することができます。
- パスワードを設定すると、各ボタンの無断操作を防止できます。
- カメラ映像出力を各チャンネルに設けているため、各チャンネルごとに他のAV入力付モニタや録画機器などに接続できます。

目　　次

安全上のご注意……1

各部の名称と説明
1. 前面パネル……2
2. 背面パネル……3

設定方法
1. メニューの選択方法……4
2. チャンネルタイトルの設定……4
3. 日付と時間の設定……4
4. カメラ映像の調整……5
5. モーションセンサの検知感度調整……5
6. イベントリストの表示……6
7. 自動連続画面表示の設定……6
8. その他の設定
8.1 モニタ出力設定（MONITOR OUT SET）……6
8.2 遅延時間の設定（VCR OUT SET）……7
8.3 アラームモードの設定（ALARM SET）……7
8.4 映像の左右反転設定（MIRROR SET）……7
8.5 パスワードの設定（KEY SET）……8
8.6 監視映像消滅時のアラーム設定（V.LOSS MODE）……8
8.7 アラーム出力時間の設定（BUZZER TIME）……8
8.8 アラームON／OFF設定（BUZZER）……9
8.9 リレーON／OFF設定（RELAY）……9
9. システム設定……9
10. 初期設定に戻す……9

接続方法……10～11
操作方法……11
アラーム機能
1. 外部センサによるアラーム出力……12
2. 監視映像消滅（V.LOSS）……12
3. モーションセンサ……12

保証とアフターサービスについて……13
仕　　様……裏表紙
保 証 書……裏表紙

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプタ本体をコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品の電源には付属しているACアダプタ以外のものは使用しないでください。発煙・発火や機器の故障の原因となります。
- 指定の電源電圧（AC100V　50/60Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この製品を落としたり、ぶつけたり無理な力を加えることがないように注意してください。故障の原因となります。
- この製品は屋内専用です。この製品を屋外に設置したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどに設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一内部に水などが入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 使用温度範囲内でご使用ください。使用温度範囲を超えると画質が悪くなり、故障の原因となります。
- 電源コンセントの近くで、異常が生じたときすぐにACアダプタを抜くことができるところに設置してください。
- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

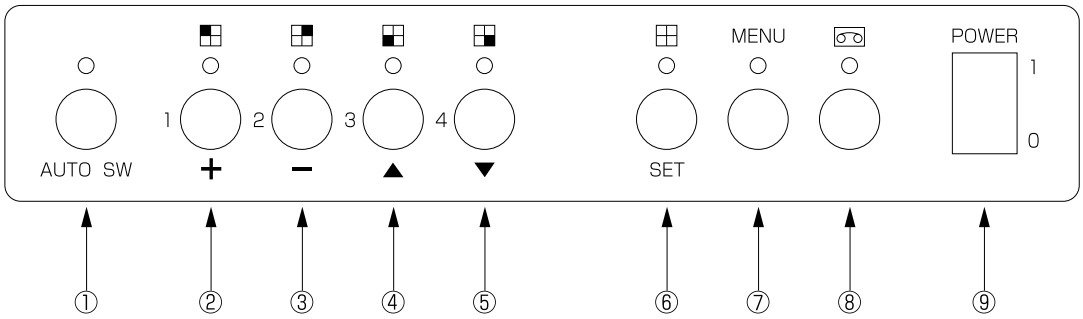
この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となります。
- この製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所や、湿度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。
お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。

各部の名称と説明

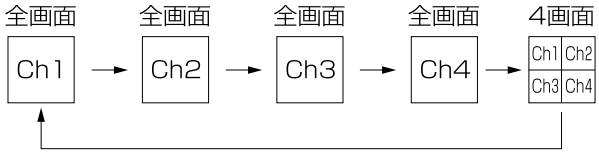
はじめに裏表紙の付属品が本器に同梱されているか確認してください。

1、前面パネル



① AUTO SW ボタン

チャンネル1からチャンネル4までと4分割画面を順に自動表示します。ただし、 チャンネル1からチャンネル4のうち映像信号入力がないチャンネルは表示せずに飛び越します。また、4画面表示の場合は、入力がないチャンネルはブルーバック画面となります。（画面切換時間は7.自動連続画面表示の設定を参照してください。）



② 1/⊞/+ボタン

モニタ中に押すと、チャンネル1を全画面で表示します。
メニュー画面ではカラーバー表示している数字や文字を増やす（進める）ときに押します。（（例）1→2→3/A→B→C）
ビデオ再生中は、押す度にチャンネル1の全画面表示と4分割画面表示を切り換えます。
チャンネル1のカメラまたはセンサ入力1にアラームが発生時、緑色のランプが点滅し、アラーム音が鳴ります。ボタンを押すとアラームが解除されます。

③ 2/⊞/−ボタン

モニタ中に押すと、チャンネル2を全画面表示します。
メニュー画面では、カラーバー表示している数字や文字を減らす（後退する）ときに押します。（（例）C→B→A/3→2→1）
ビデオ再生中は、押す度にチャンネル2の全画面表示と4分割画面表示を切り換えます。
チャンネル2のカメラまたはセンサ入力2にアラームが発生時、緑色のランプが点滅し、アラーム音が鳴りますので、ボタンを押すとアラームが解除されます。

④ 3/⊞/▲ボタン

モニタ中に押すと、チャンネル3を全画面表示します。
メニュー画面では、押す度にカラーバー表示を上/右へ移動します。
ビデオ再生中は、押す度にチャンネル3の全画面表示と4分割画面表示を切り換えます。
チャンネル3のカメラまたはセンサ入力3にアラームが発生時、緑色のランプが点滅し、アラーム音が鳴りますので、ボタンを押すとアラームが解除されます。

⑤ 4/⊞/▼ボタン

モニタ中に押すと、チャンネル4を全画面表示します。
メニュー画面では、押す度にカラーバー表示を下/左へ移動します。
ビデオ再生中は、押す度にチャンネル4の全画面表示と4分割画面表示を切り換えます。
チャンネル4のカメラまたはセンサ入力4にアラームが発生時、緑色のランプが点滅し、アラーム音が鳴りますので、ボタンを押すとアラームが解除されます。

⑥ ⊞/SETボタン

モニタ中に押すと、4分割画面と全画面（選択チャンネル）の表示が切り換わります。
メニュー画面では、押すとカラーバー表示している項目のサブメニューに移ります。

⑦ MENUボタン

モニタ中に押すと、メニュー画面を表示します。再度押すとメニュー画面が消えます。

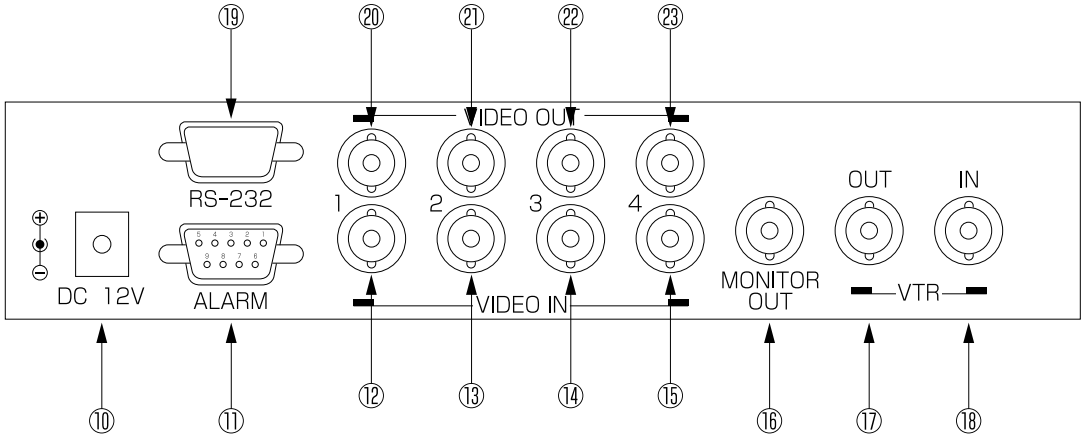
⑧ ⊙ ボタン

VTRなどに録画された映像を監視映像用モニタで再生して見るときに押します。中止するときは⊞/SETボタンを押します。

⑨ 電源スイッチ

1:ON/0:OFFを切り換えます。
スイッチを1（ON）側にすると電源が入り、ピーとブザー音が鳴り、画面表示します。
（付属のACアダプタで電源が供給されていること）

2、背面パネル



⑩ DC12V入力端子
付属のACアダプタを接続してDC12Vを供給します。（ACアダプタは必ずAC100V（50/60Hz）コンセントに接続してください。）

⑪ 無電圧リレー接点出力、外部センサ入力端子（ALARM）
無電圧リレー接点出力：アラーム時、内蔵のリレー（N.O、N.C）が作動しますので外部の警報器に接続して利用します。（接点容量：DC24V・1A以下）
外部センサ入力：外部に設置したセンサ（最大4台）の検知出力（N.O、N.C、OFF選択可能）と接続します。（検知出力容量：DC5V・1mA以上）
リセット入力：画面のアラーム表示とアラーム音を解除します。これにより本体から離れた場所でリセットができます。

⑫ カメラ1入力端子
チャンネル1のカメラを接続します。

⑬ カメラ2入力端子
チャンネル2のカメラを接続します。

⑭ カメラ3入力端子
チャンネル3のカメラを接続します。

⑮ カメラ4入力端子
チャンネル4のカメラを接続します。

⑯ モニタ出力端子（MONITOR OUT） 注1）
モニタの入力端子と接続します。

⑰ ビデオ出力端子（VTR OUT） 注2）
VTR（VCR）の入力端子と接続します。

⑱ ビデオ入力端子（VTR IN） 注2）
VTR（VCR）の出力端子と接続します。

⑲ 使用できません。（工場調整端子）

⑳ カメラ1モニタ出力端子 注1）注3）
チャンネル1のカメラ映像が出力されます。

㉑ カメラ2モニタ出力端子 注1）注3）
チャンネル2のカメラ映像が出力されます。

㉒ カメラ3モニタ出力端子 注1）注3）
チャンネル3のカメラ映像が出力されます。

㉓ カメラ4モニタ出力端子 注1）注3）
チャンネル4のカメラ映像が出力されます。

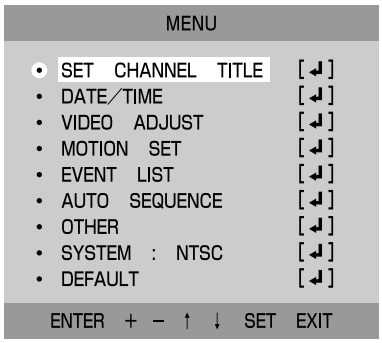
注1）モニタとして家庭用のAV入力付きテレビも使用できます。
注2）VTR（VCR：ビデオカセットレコーダ）として家庭用ビデオテープレコーダ以外に家庭用のDVDレコーダやハードディスクレコーダも使用できます。
注3）カメラの入力信号を内部で2分配して出力しています。（本器の電源がONのとき）

設定方法

1、メニューの選択方法

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。(右図参照)
② ▲/▼ボタンで設定したい項目を黄色表示させます。
③ SETボタンを押すと黄色表示している項目のサブメニューに移ります。
④ ▲/▼ボタンまたは+/ーボタンでサブメニューを選択し、希望の設定に合わせます。
⑤ 選択･設定が終わるとMENUボタンを押してサブメニューを確定し、メインメニューに戻ります。
⑥ さらにMENUボタンを押すとメニュー画面が消え、 メニューの設定が終了します。

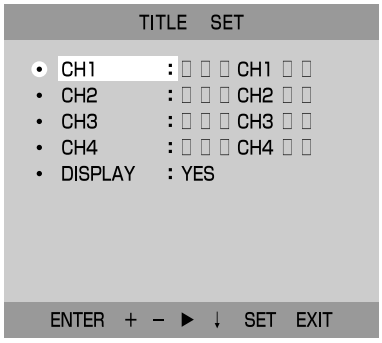
〈メインメニュー画面〉



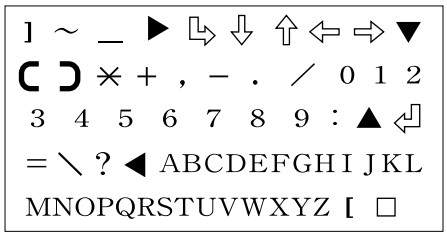
2. チャンネルタイトルの設定

監視している各カメラ映像にタイトルを表示させるときに使用します。
出荷時はCH1の場合、□□□CH1□□に設定していますので、(□は空白文字)、変更する場合には次の手順で設定してください。
① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▲/▼ボタンで**SET CHANNEL TITLE**を黄色表示させます。
③ SETボタンを押し、サブメニューのタイトル設定に移ります。(右図参照)
④ ▼/▲ボタンで、タイトル設定したいチャンネルを青色表示させます。
⑤ 右図の記号表示順を参考に+/ーボタンを押して文字を選択します。
⑥ 希望する文字を選択したら▲ボタンで青色表示が右に移動しますので、変更したい文字を+/ーボタンで選択してください。⑤ー⑥を繰り返して1つのチャンネルに対して最大8文字設定します。
⑦ チャンネルタイトルの表示/非表示の選択は、▼/▲ボタンを押して**DISPLAY**を青色表示させ、次に+/ーボタンでYESを選択して表示するか、NOを選択して非表示にします。
⑧ MENUボタンを押して確定し、 サブメニューを終了してメインメニューに移ります。
⑨ 続けて他の項目を設定するときは ▲/▼ボタンで変更する項目を点滅させてSETボタンを押します。
⑩ 設定を終了するときはMENUボタンを押して、メニュー画面を終了します。

〈サブメニュー画面〉



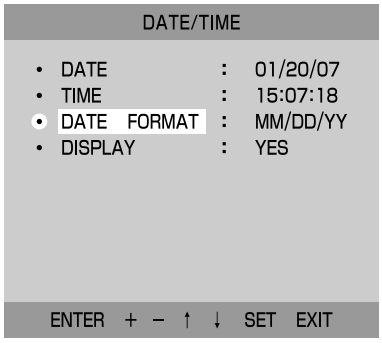
記号表示順（＋方向）



3. 日付と時間の設定

モニタ画面に表示したり、アラーム時の発生やモーションセンサの作動をイベントリストに記録するための年月日時間を設定します。
① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**DATE/TIME**を黄色表示させます。
③ SETボタンを押してサブメニューを表示します。(右図参照)
④ まず最初に日付の表示方法(月/日/年、年/月/日、日/月/年)を決定します。▼ボタンで**DATE FORMAT**を青色表示させ、+/ーボタンを押すとY(年)、M(月)、D(日)を表示している順番が変わります。(このときDATE FORMATを変更するたびにサブメニューの一番上の**DATE**表示の順番も自動的に変わります。)
⑤ 次に▲ボタンで**DATE**および**TIME**に戻り、④で決定した表示の年、月、日および時間をそれぞれ青色表示させ、 +/ーボタンで現在の日付と時間に合わせてください。なお、変更力所は▼ボタンで次に進み▲ボタンで前に戻ります。
⑥ **DISPLAY**を青色表示させて+/ーボタンで表示(YES)、非表示(NO)を選択します。
⑦ 設定を全て選択するとMENUボタンを押して確定し、メインメニュー画面に戻ります。(サブメニューを終了)
⑧ 他の設定を続けるときは▲/▼ボタンを、終了するときはMENUボタンを押します。

〈サブメニュー画面〉



Y：年（西暦の下2ケタ）
M：月
D：日

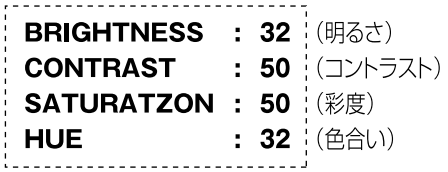
設定方法のつづき

4. カメラ映像の調整

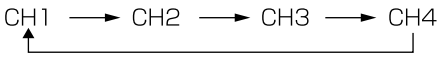
モニタ画面のカメラ映像を最適に調整します。各チャンネルごとに調整できます。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**VIDEO ADJUST**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ 4分割画面それぞれにサブメニューを表示します。（右図参照）
④ CH1の1行目**BRIGHTNESS**から順に青色表示させ画面を見ながら+/−ボタンで調整します。希望のところで▼/▲ボタンで次（前）の項目を青色表示させることで1つの項目の調整が終わります。（0〜63段階）
HUEが青色表示の時に▼ボタンを押すと、次のチャンネル調整へ進み、**BRIGHTNESS**が青色表示の時に▲ボタンを押すと前のチャンネル調整に戻ります。
⑤ 全てのチャンネルの全項目の調整が終わるとMENUボタンを押して確定し、メインメニュー画面に戻ります。（サブメニューの終了）
⑥ 他の設定を続けるときは▲/▼ボタンを、終了するときはMENUボタンを押します。

〈サブメニュー画面〉



映像調整順（▼方向）

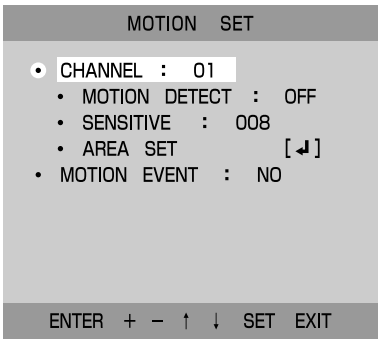


5. モーションセンサの検知感度調整

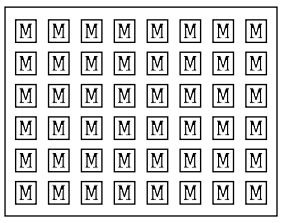
監視映像に変化があるとアラームが作動します。例えば、監視している部屋に誰かが侵入するとアラームが作動します。各チャンネルごとに検知エリアと感度を調整できます。また、チャンネルごとにこの機能をOFFにすることもできます。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**MOTION SET**を黄色表示させ、SETボタンを押します。（右図参照）
③ **CHANNEL**を青色表示させ、+/−ボタンで設定するチャンネルを選択します。
④ ▼ボタンで**MOTION DETECT**を青色表示させ、+/−ボタンで選択しているチャンネルのモーションセンサを働かせるか（ON）、働かせないか（OFF）を選択します。
⑤ 次に▼ボタンで**SENSITIVE**を青色表示させ、+/−ボタンで感度を調整します。（出荷時は8に設定していますが、実際の使用環境に合わせて1〜255まで設定できます。なお、数値が小さいほど感度は鋭くなります。）
⑥ 検知エリアを設定する場合、▼ボタンで**AREA SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
⑦ 右図のように選択しているチャンネルの映像が1画面表示になり、Ⓜのマークで48分割されます。
⑧ +/−ボタンで黄色表示が左右に移動し、▲/▼ボタンで黄色表示が上下に移動しますのでSETボタンを押してⓂのマークを消すことで不感エリア（ブランク部分は映像が変化してもモーションセンサが働かない範囲）を設定できます。
監視映像に常に動くものが存在する場合など、誤動作を防止するのに非常に便利です。
⑨ MENUボタンを押して確定します。▼/▲ボタンで**MOTION EVENT**を青色表示させ、+/−ボタンで検知したときにイベント記録を行うか（YES）、記録を行わないか（NO）を設定できます。
⑩ ③〜⑨をチャンネルごとに設定し、MENUボタンを押して確定します。
※関連項目: **8.7、8.8、8.9**参照。
⑪ 他の設定を続けるときは▲/▼ボタンを、終了するときはMENUボタンを押します。

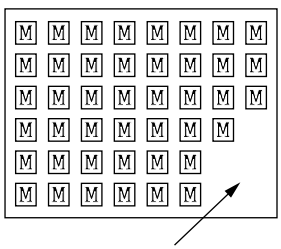
〈サブメニュー画面〉



CHANNEL : CH2



（例） CHANNEL : CH2



この場合、CH2は画面右隅（5コマ分）の移動体を検知しません

（注）感度設定および画面上の不感エリアの設定はあくまで目安です。本器に接続するカメラの性能、機能、設置環境により影響を受けますので実際の使用環境で十分調整を行なってください。
（注）モーションセンサは監視映像の輝度レベルの変化で作動します。したがって急激な明るさ変化が生じますとセンサが作動しますので注意してください。（特に照明器具のON／OFFや、屋外監視の場合、自動車のヘッドライトの明かりや太陽光、木々や洗濯物のゆれなど）

6. イベントリストの表示

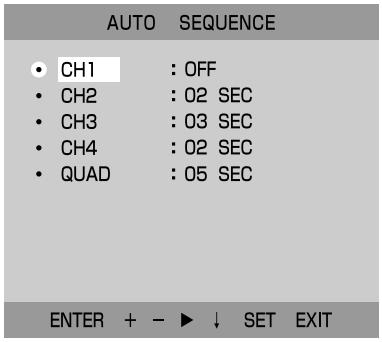
〈サブメニュー画面〉

モーションセンサの作動および監視映像が消えたチャンネルと年月日時間を表示します。外部センサが接続されている場合、このセンサが作動した時もALARMとして同様に表示します。

① MENUボタンを押して、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**EVENT LIST**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンでリストのページを変更します。（右図参照）
リストにはモーションセンサ作動（MOTION）・監視映像消滅（V.LOSS）・外部センサによるアラーム発生（ALARM）のチャンネルと日時が最新のものから順に1ページに10件、合計90件まで記録します。90件を越えると自動的に古いものから削除します。
④ MENUボタンを押すと、メインメニュー画面に戻り、もう一度押してメニュー設定を終了します。

7. 自動連続画面表示の設定

〈サブメニュー画面〉

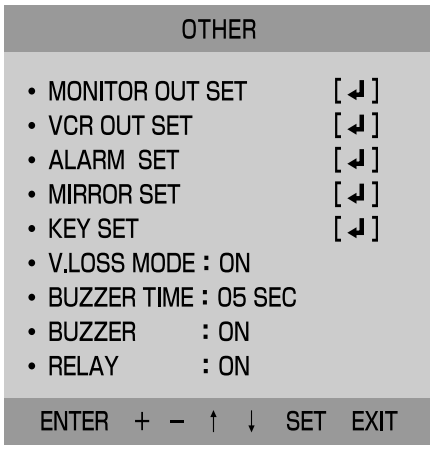


チャンネル1からチャンネル4までと4分割画面を順に自動表示させる時間を設定できます。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**AUTO SEQUENCE**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで設定するチャンネルを青色表示させて選択します。QUADは4分割画面表示を表わします。（右図参照）
④ 選択したチャンネルの表示時間（秒）を+/−ボタンで調整します。調整はOFF（0秒）～99秒まで設定できます。（画面が切り換わる速度のことです）
⑤ 調整が終わるとMENUボタンを押して確定し、メインメニュー画面に戻ります。（サブメニューの終了）
⑥ 他の設定を続けるときは▲/▼ボタンを、終了するときはMENUボタンを押します。

8. その他の設定

〈サブメニュー画面〉

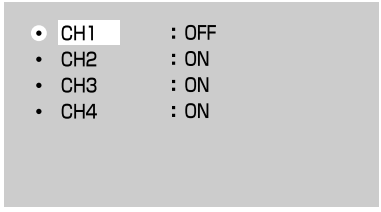


その他に以下の設定ができます。（右図参照）

	参照項
8.1 各チャンネルごとに画面を表示する／表示しないを設定します。	8.1→
8.2 外部センサ入力がONしたときVTR OUT出力からの映像に A （アラーム表示）が表示されるまでの遅延時間を設定します。	8.2→
8.3 各チャンネルごとにセンサ入力の形式を N.O、N.C、OFF に設定し、アラームが作動した場合全画面表示にするか／しないかを設定します。	8.3→
8.4 映像の左右反転を切り換えます。	8.4→
8.5 パスワード（4桁）を設定し、有効／無効を設定します。	8.5→
8.6 監視映像消滅時のアラーム鳴動時間を設定します。	8.6→
8.7 アラーム出力時間を設定します。	8.7→
8.8 アラームON／OFFを設定します。	8.8→
8.9 リレーのON／OFFを設定します。	8.9→

8.1 モニタ出力設定（MONITOR OUT SET）

〈サブメニューの子画面〉



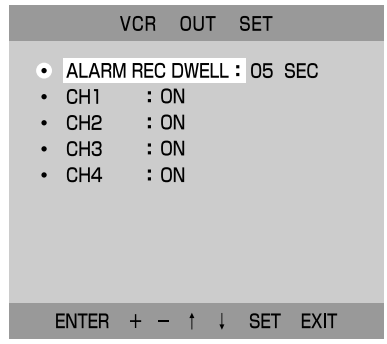
背面パネルのMONITOR OUTから出力される映像を各チャンネルごとに表示する／表示しないを設定できます。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**MONITOR OUT SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
④ ▼/▲ボタンでチャンネルを選択して、+/−ボタンを押して映像をモニタに表示する（ON）、表示しない（OFF）を設定します。

8.2 遅延時間の設定（VCR OUT SET）

外部センサ作動時にVTR OUTの映像に🄰（アラーム表示）点滅が出るまでの遅延時間を設定できます。
① MENUボタンを押してメインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**VCR OUT SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
④ ▼/▲ボタンで**ALARM REC DWELL**を緑色表示させ、+/−ボタンでVTR OUTの映像に🄰（アラーム表示）点滅表示が出るまでの遅延時間を設定します。（5〜99秒まで設定可能）（右図参照）
⑤ 次に、▼/▲ボタンでVTR OUTに🄰を表示させるチャンネルを緑色表示させ、+/−ボタンで表示する（ON）、表示しない（OFF）を設定します。
（注）MONITOR OUTの映像への遅延はありません。
（注）カメラ映像が入力されていないチャンネルは遅延されません。

〈サブメニューの子画面〉



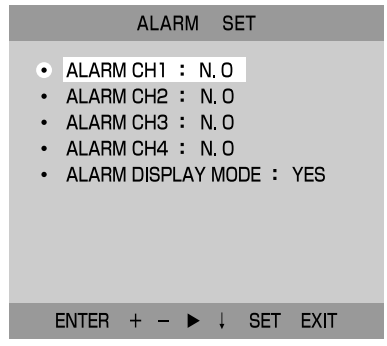
8.3 アラームモードの設定（ALARM SET）

チャンネルごとに（アラーム出力時の）外部センサ入力端子の形式を N.O、N.C、OFF に設定できます。また、センサ入力によりアラームが作動した場合に、MONITOR OUTのそのチャンネルを全画面表示することができます。
① MENUボタンを押して、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**ALARM SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
④ ▼/▲ボタンで変更するチャンネルを緑色表示させ、+/−ボタンを押して本器に接続するセンサやスイッチの出力形式に合わせて選択してください。

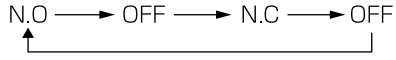
N.O：（Normal Open/通常は開、検知時閉）センサ検知時に「閉」動作する場合に使用してください。
N.C：（Normal Close/通常は閉、検知時開）センサ検知時に「開」動作する場合に使用してください。
OFF：切

⑤ また、▼/▲ボタンで**ALARM DISPLAY MODE**を緑色表示させ、+/−ボタンを押して、センサ入力によりアラームが作動した場合に、MONITOR OUTのそのチャンネルの画面を全画面表示に切り換えるか（YES）、全画面表示に切り換えないか（NO）を設定します。
※アラームの解除方法は、前面パネルの点滅しているCHボタンを押すか、背面パネルのリセット端子をグランドに接続してください。（P10.接続方法参照）
（注）VTR OUTは全画面表示にはなりません。

〈サブメニューの子画面〉



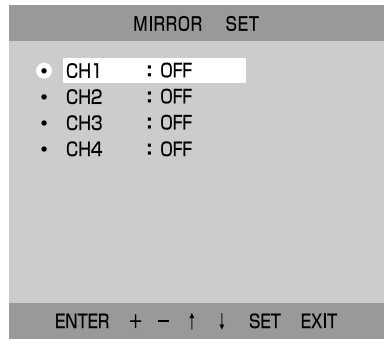
センサ入力の形式（＋方向）



8.4 映像の左右反転設定（MIRROR SET）

鏡に反射したモニタを見る場合や、反転映像に設定されたカメラを接続する場合など、各チャンネルごとに左右反転した映像に設定できます。
① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**MIRROR SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
④ ▼/▲ボタンでチャンネルを選択して緑色表示させ、+/−ボタンを押して映像を左右反転表示する（ON）、反転表示しない（OFF）を設定します。（右図参照）

〈サブメニューの子画面〉



8.5 パスワードの設定

暗証番号を設定することで全てのボタン操作をロックして、あらかじめお客様が登録しておいた暗証番号（4桁）を入力しなければ操作できないように設定できます。また、前面パネルのボタンを押したときにクリック音を発生させることができます。

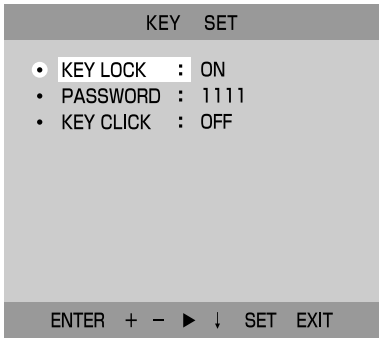
（出荷時の暗証番号は「1111」に設定されています。）

① MENUボタンを押してメインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**KEY SET**を青色表示させ、SETボタンを押します。
④ ▼/▲ボタンで**KEY LOCK**を緑色表示させ、+/−ボタンで暗証番号を設定する（ON）、設定しない（OFF）を設定します。（右図④参照）
⑤ ▼/▲ボタンで**PASS WORD**を緑色表示させ、+/−ボタンで0〜9までのお好みの番号を設定します。（右図⑤⑥参照）
⑥ ▲ボタンを押すと入力できる桁が移動できます。
⑦ ⑤⑥をくり返して4桁の暗証番号を設定します。
⑧ 次に前面パネルの操作ボタンを押したときにクリック音が鳴るようにしたい場合は▼/▲ボタンで**KEY CLICK**を緑色表示させ、+/−ボタンでクリック音あり（ON）、クリック音なし（OFF）を設定します。

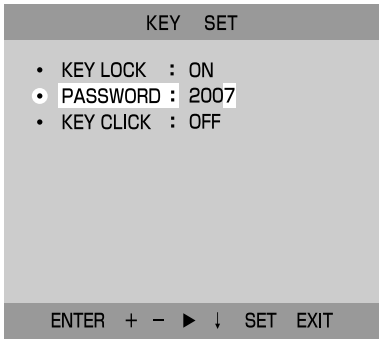
※MENUボタンを押して設定を確定する前に、下記注意事項をチェックしてください。

〈注意〉暗証番号をメモしましたか？
・暗証番号は必ずメモを取るなどして別途大切に保管してください。万一この機能を設定後に**暗証番号を忘れた場合は、**本器の電源供給を停止しても**操作できなくなります。**この場合、購入された販売店に相談してください。工場での再設定が必要ですので、場合によりお客様への費用負担が発生することがあります。ご注意願います。

④〈サブメニューの子画面〉



⑤⑥〈サブメニューの子画面〉



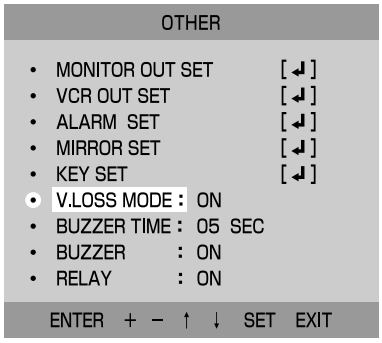
8.6 監視映像消滅時のアラーム設定（V.LOSS MODE）

監視しているカメラ映像が消えた（ビデオ信号入力が途切れた）場合のアラーム状態を設定します。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**V.LOSS MODE**を青色表示させ、+/−ボタンでON（有効）あるいはOFF（無効）を選択します。（右図参照）

※ONにすると、カメラ映像が消えたとき、そのチャンネルの画面上に**VIDEO LOSS**と表示され、それぞれのチャンネルボタンの上のLEDが点滅し、アラーム音が鳴ります。（アラーム発生時間は調整することができます。8.7参照）また、アラーム発生チャンネルと日時がイベントリストに記録されます。
OFFにすると、カメラ映像が消えても**VIDEO LOSS**は表示されず、チャンネルボタンの上のランプは点滅せず、アラーム音は鳴りません。

〈サブメニューの子画面〉

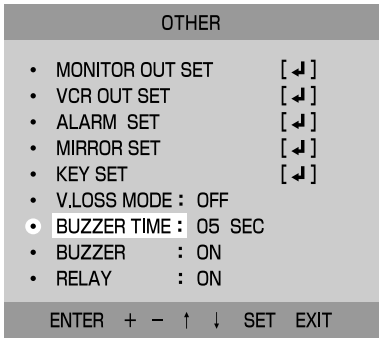


8.7 アラーム出力時間の設定（BUZZER TIME）

アラーム音が鳴っている時間と、無電圧リレー接点出力時間を設定します。

① MENUボタンを押して、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**BUZZER TIME**を青色表示させ、+/−ボタンを押してアラーム音が鳴る時間を1〜99秒間で調整します。（アラーム音を鳴らさない場合は**BUZZER**の設定をOFFにします。8.8参照）

〈サブメニューの子画面〉



8.8 アラームON／OFF設定（BUZZER）

モーションセンサ検知時、外部センサ入力時、監視映像消滅時におけるアラーム音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**BUZZER** を青色表示させ、+/ーボタンを押してON（アラーム「入」）またはOFF（アラーム「切」）にします。

8.9 リレーON／OFF設定（RELAY）

モーションセンサの作動時、外部センサ入力時、監視映像消滅時におけるリレーを動作させるか、動作させないかを設定します。

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**OTHER**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ ▼/▲ボタンで**RELAY**を青色表示させ、+/ーボタンを押してON（リレー動作

9. システム設定

工場出荷時はNTSCに設定しています。変更しないでください。変更すると映像が見えなくなります。もし誤って変更した場合は次の手順でNTSCに再設定してください。（NTSC：日本国内の映像方式）

① MENUボタンを押し、メインメニューを表示します。
② ▼/▲ボタンで**SYSTEM**を黄色表示させ、SETボタンを押します。+/ーボタンで**NTSC**を選択します。（右図参照）
③ MENUボタンを押してサブメニューを終了し、もう一度MENUボタンを押してメインメニューを終了します。

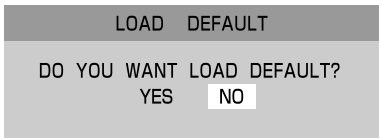
システム設定表示順（＋方向）

NTSC → PAL → EIA → CCIR

10. 初期設定に戻す

各チャンネルの設定を初期状態に戻すことができます。

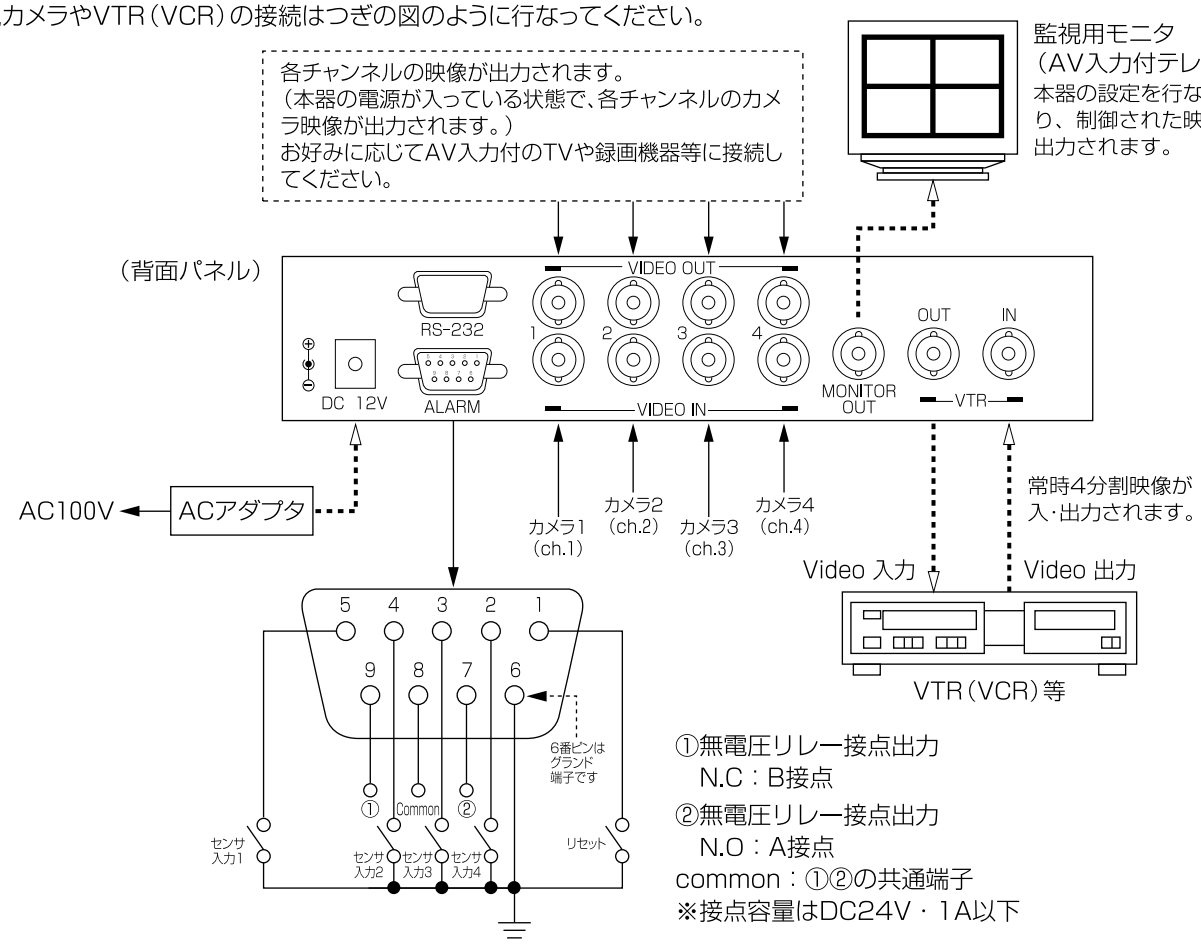
① MENUボタンを押し、メインメニューを表示する。
② ▲/▼ボタンで**DEFAULT**を黄色表示させ、SETボタンを押します。
③ 右図のように初期設定に戻すことへの確認画面ができますので、▲/▼ボタンを押して初期設定に戻す場合はYES、戻さない場合はNOを選択します。
④ LOADING...OKが表示され、工場出荷時の初期設定値に変更されます。
⑤ MENUボタンを押してメニューを終了します。
※ただし、時計表示とイベントリストは内容保持されます。



接続方法

1. 監視カメラ、VTR（VCR）等録画機器の接続

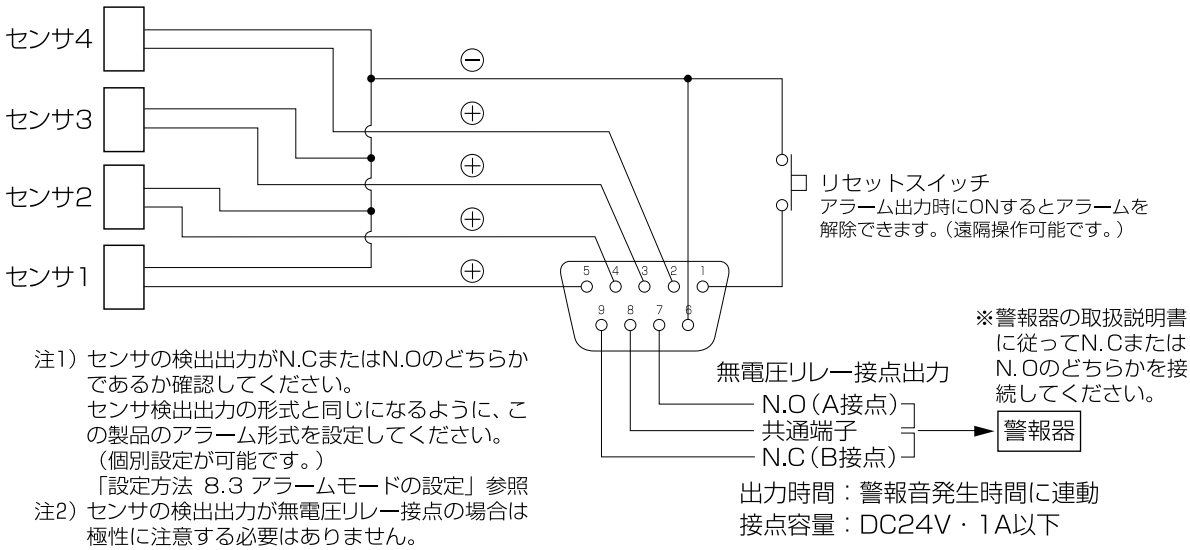
監視カメラやVTR（VCR）の接続はつぎの図のように行なってください。



2. 無電圧リレー接点出力、外部センサ入力端子（ALARM）の接続

2.1 D-SUB 9ピンコネクタと配線材の接続

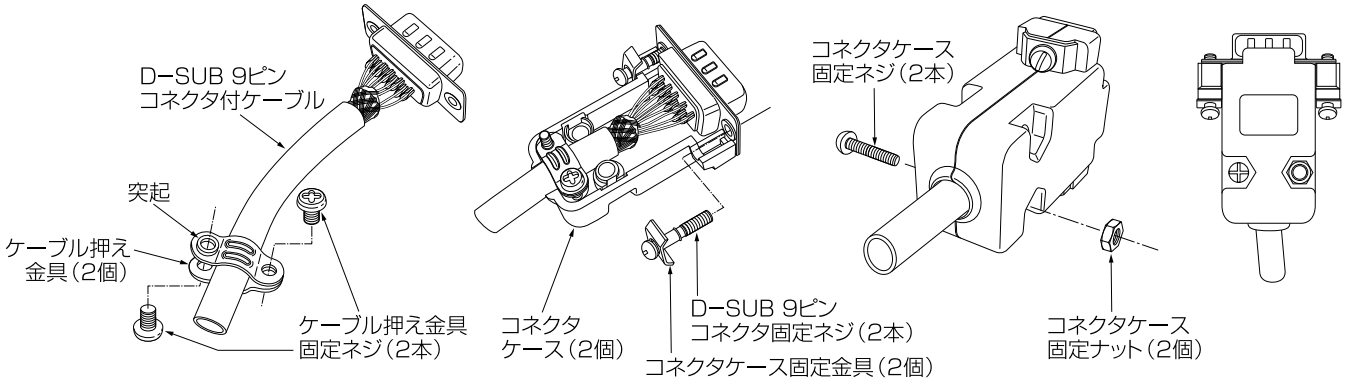
付属のD−SUB 9ピンコネクタとケーブルを図のように接続してください。接続を間違えると、この製品が故障する可能性があります。



注1）センサの検出出力がN.CまたはN.Oのどちらかであるか確認してください。
センサ検出出力の形式と同じになるように、この製品のアラーム形式を設定してください。
（個別設定が可能です。）
「設定方法 8.3 アラームモードの設定」参照
注2）センサの検出出力が無電圧リレー接点の場合は極性に注意する必要はありません。
ただし、オープンコレクター等の有極性出力の場合はセンサの取扱説明書に従って接続してください。
注3）センサの検出出力は接点容量がDC5V・1mA以上のものを使用してください。
注4）センサの検出出力時間は0.5秒以上必要です。
注5）6番ピンはグランド端子です。

接続方法のつづき

2.2 コネクタケースの取付け



①ケーブル押え金具の穴の外側に突起のある方とない方を上下組み合わせてD−SUB 9ピンコネクタ付ケーブルをはさみ込み、ケーブル押え金具固定ネジ2本をともに突起がない方の穴から突起のある方の穴の方へ締め付けます。

②コネクタケースにD−SUB 9ピンコネクタ付ケーブルをはめ込みます。

③D−SUB 9ピンコネクタ固定ネジ2本とコネクタケース押え金具2個でケーブル側からD−SUB 9ピンコネクタとコネクタケースを固定します。

④コネクタケースの上下をコネクタケース固定ネジ2本とナット2個で固定します。

操作方法

① この製品に付属のACアダプタや、カメラ、ビデオ、モニタ等が正しく接続・設置されていることを確認します。
② この製品の電源を入れます。ピーとブザー音がなり、画面に「NTSC SYSTEM INITIALIZING」と表示され、前回指定した最新設定（初回は工場出荷時の初期設定）で動作を開始します。
③ SETボタンを押すとモニタ画面に4分割画面が、各チャンネルボタンを押すとそのチャンネルが全画面表示されます。AUTO SWを押すと、入力信号のないチャンネルは飛ばして「AUTO SEQUENCE」の設定通りに自動的に画面を表示します。4分割画面は右図のように表示されます。

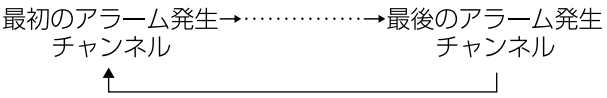
DATE	TIME
CH1	CH2
CH3	CH4

アラーム機能

1. 外部センサによるアラーム出力

この製品に接続しているセンサが異常を検出するとアラーム音（ブザー）が鳴り、発生したチャンネルのランプが点滅するとともにイベントリストにアラーム発生チャンネルと日時を記録します。

- 映像入力のあるチャンネルの場合は、該当チャンネルが全画面になりAと表示が出ます。
- 映像入力のないチャンネルの場合は、自動的に 4 分割状態になり該当チャンネル画面にAの表示が出ます。
- アラーム発生チャンネルのボタンを押さなければ設定したアラーム発生時間経過後、アラーム音（ブザー）は止まりますが、ランプは点滅し続けます。また画面は、アラーム発生直前の4分割画面か、または自動チャンネル切換画面になり、他の機能は全て停止します。
- 2つ以上のチャンネルにアラームが発生した場合、それぞれの画面を自動切換で画面表示します。最初のアラーム発生チャンネルのアラーム時間が経過すると、最後のアラーム発生チャンネルのアラーム時間が経過するまで、画面は最初のアラーム発生チャンネルに戻りつづけて自動チャンネル切換画面が止まります。最新アラームを最優先で表示します。



＜アラームの解除方法＞

アラーム音（ブザー）が鳴っている間にアラーム発生チャンネルのボタンを1度押します。または、背面パネルのリセット端子をグランドに接続してください。ランプが消え、アラーム音（ブザー）が止まり解除されます。（P10.接続方法参照）

※ アラーム発生チャンネルのボタンを押さなければ（またはリセット端子を使用しなければ）設定したアラーム発生時間経過後、アラーム音（ブザー）は停止しますが、該当チャンネルのA表示とランプの点滅は消えず、アラーム発生直前の4分割画面または自動チャンネル切換画面になり、他の機能は全て停止します。

2．監視映像消滅（V.LOSS）

- 監視映像消滅モード（V.LOSS MODE）をONに設定時、カメラからの映像が消える（映像入力信号が途切れる）と、アラーム音（ブザー）が鳴り、アラーム発生チャンネルのランプが点滅して該当チャンネル画面に「VIDEO LOSS」と表示されるとともにイベントリストにアラーム発生チャンネルと日時を記録します。（下図参照）
- 監視映像消滅モード（V.LOSS MODE）OFF設定時は、カメラからの映像信号入力が途切れてもモニタが消えるだけです。
- アラーム発生チャンネルのボタンを押さなければ、設定したアラーム発生時間経過後、アラーム音（ブザー）は止まりますが、カメラからの映像が復帰しても該当チャンネルの「VIDEO LOSS」表示とランプの点滅は消えず、アラーム発生直前の4分割画面または自動チャンネル切換画面になり、他の機能は全て停止します。

＜アラーム解除方法＞

アラーム発生チャンネルのボタンを押す、または、背面パネルのリセット端子をグランドに接続するとランプの点滅が消え、アラーム発生前の状態に戻ります。（P10.接続方法参照）

3．モーションセンサ

- 検知感度（SENSITIVITY）をレベル1～255に設定時、カメラ映像の変化（例：人の侵入）を感知すると、アラーム（ブザー）が鳴り、ランプが点滅し、該当チャンネルの画面にMが点滅表示するとともにイベントリストにアラーム発生チャンネルと日時を記録します。
- 設定したアラーム発生時間経過後、アラーム（ブザー）は止まり、ランプは消灯し、該当チャンネルの画面に点滅していたMの表示が消えます。

（注）屋外を監視しているカメラを接続する場合は、外灯、太陽光、洗濯物や木々等のゆれ、自動車のヘッドライト等により誤動作する可能性がありますので、「5.モーションセンサの検知感度調整」をよく読んで、検知感度や検知エリアを使用環境に合わせて調整してください。

＜アラーム解除方法＞

アラーム発生チャンネルのボタンを押す、または、背面パネルのリセット端子をグランドに接続するとランプの点滅が消え、アラーム発生前の状態に戻ります。（P10.接続方法参照）

保証とアフターサービスについて

- この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合せください。
- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

裏表紙に記載している保証書に必要事項をご記入ください。

- 無料修理規定

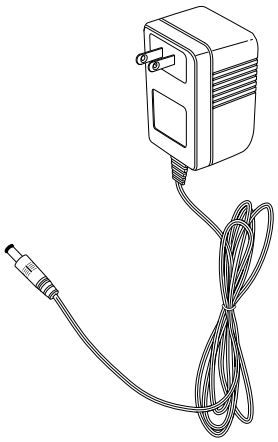
1. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
   ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   ②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。
   ④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ受像機等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
   ⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   ⑥本保証書が添付されていない場合。
   ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、もよりのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

仕　様

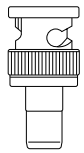
項目	規格	
解像度（H×V）	NTSC:720×480	
リフレッシュ速度	NTSC:毎秒60フィールドまで	
映像入力	1Vp-p、75オーム、BNC×4（カメラ入力）	1Vp-p、75オーム、BNC×1（VTR入力）
映像出力	1Vp-p、75オーム、BNC×2（モニタ、VTR出力）	1Vp-p、75オーム、BNC×4（カメラ出力）
アラーム出力	N.C　N.O無電圧リレー接点（DC24V・1A以下）	アラーム音（1～99秒）
アラーム入力	4入力（N.O、N.C、OFF個別選択可能）	リセット入力×1
時計／タイトル	実時間時計内蔵/各入力に対して8文字のタイトル表示	
アラーム出力時間	1～99秒	
アラーム表示遅延時間	5～99秒（センサ入力時VCR OUTのみ）	
消費電力	8.4W（本体）	
電源	DC12V 1A（指定のACアダプタ）	
寸法（幅×奥行き×高さ）	203×220×44mm	
質量	1.2kg	
使用温度範囲	−10～+50℃まで	

（注）仕様は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

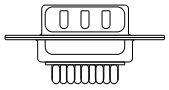
付属品



ACアダプタ
×1台



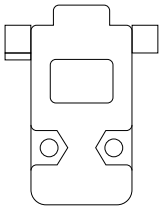
変換プラグ×11個
（RCA→BNC）



D−SUB 9ピンコネクタ×1個

D−SUB 9ピンコネクタ
取付ネジ×2本

D−SUB 9ピンコネクタ組立用部品



コネクタケース×2個

ケーブル押え金具×2個

ケーブル押え金具
固定ネジ×2本

D−SUB 9ピンコネクタ
固定ネジ×2本

コネクタケース
押え金具×2個

コネクタケース
固定ナット×2個

コネクタケース
固定ネジ×2本

保　証　書

品番	※お買上年月日	保証期間
SCD-4N	年　月　日	お買上げ日より 1年間

※ご販売店
ご住所・ご店名

電話（　　）　−

※お客様
お名前　ふりがな　様
ご住所　□□□-□□□□　電話（　　）　−

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所 TEL.(043)823-6281(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
・東京支店 TEL.(03)3341-4569(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)		

・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)		
・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)		
・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)		
・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)		
・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)		
・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)		
・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)		
・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)		
・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)		
・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)		

（2006年12月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/